

三井は控訴を取下さよ

抗議文

報告集会で団結誓う

裁判提訴後、ちようど一年

三池大災害裁判原告団は、第四十六回統一メーテーを迎へ、上村裁判福岡地裁判決を踏みにじつて福岡高裁へ控訴した。理不尽な三井鉱山に改めて抗議するとともに、同控訴をただらに取り上げるよう強く要求した。

国内の石炭の30%以上を生産し、日本の設備をほこるといわれる三井鉱山において、世の中をおどらかした昭和三十八年十一月九日の炭じん大爆発からわずか四年。「二度と災害をくりかえさないため最大の努力を致します」と言明した会社幹部の舌の根も乾かない間に、四十一年九月二十八日、同じ三川鉱で、また坑内火災を引き起こし、七名の労働者の尊い生命を奪い、四百二十五名もの一酸化炭素中毒患者を出した。

私たちがこのように、労働者を虫ヶalleryのように殺し、傷めつけ続ける三井鉱山に対し、災害の責任追及と、被災者である遺族とCO患者の救済、再び悲惨な災害を繰りかえさないためには、加害者三井鉱山を相手に、損害賠償請求の裁判を起こしました。

この裁判闘争の一つが、九・二八坑内火災で死にされた、上村孝知さんの遺族三名が原告となりました。この訴訟で、これに対する判決を下しました。の井野三郎裁判長は「火災原因は自然落火以外には考えられず、防止対策をおこなった被告の責任は重大である」と請求総額千九十五万円の金額支払いを命ずる判決を下しました。

会社はこの裁判の中で、火災現場の密閉をよいことに、御用学者を訴入にして、「坑内火災は不司抗力だった」と、と責任回避にやきとなるばかりでなく、



きたる十一日午前十時から、三池大災害裁判第八回公判開廷。福岡地裁民事部法廷で、裁判官から二年目(四十八年五月十一日裏訴)になるこの日を記念して、三池労組は福岡市の教育会館(天神)で報告集会を開き、これを機会に改めて大災害裁判勝利に向けて団結を強めることを誓う。三池大災害裁判提訴一周年記念第八回公判を迎えてようやく、これまでの公判は、第八回公判終了後、同日午後二時半から福岡市中央区天神の「教育会館」で開催される。

三池労組は、この日傍聴に参加した人ばかりでなく、福岡週辺に居住する「CO・遺族守る会」会員の人びとや、同裁判を日ごろから熱心に支援いただいている人びとにも強く参加を要望している。

大災害裁判は、提訴後一年、かかる「三池にまなぶ全国集会」に集まつて、三池労組を主導に据えた三池のCO闘争を主軸に、全国各地で、CO患者たちがばかりでなく、三十八年十一月九日の大災害以降、百名の労働者の生命を奪い、数千名を傷め続けた人殺し合理化について、反省するどころか、さらに激しい憤りをもって抗議する姿勢を示すことを宣言したものです。

私たちがこのようないい停止を裁判所に申請するなど、正義と眞実に逆行する巻きかえしをかかってきました。

これは、七年半にわたる上村さん達の永遠の永いはかり知れの苦しみをさらに倍加させるために、裁判所に申請するなど、正義と眞実に逆行する巻きかえしをかかってきました。

三池労組は、その日傍聴に参加した人ばかりでなく、福岡週辺に居住する「CO・遺族守る会」会員の人びとや、同裁判を日ごろから熱心に支援いただいている人びとにも強く参加を要望している。

大災害裁判は、提訴後一年、かかる「三池にまなぶ全国集会」に集まつて、三池のCO闘争を主軸に、全国各地で、CO患者たちがばかりでなく、三十八年十一月九日の大災害以降、百名の労働者の生命を奪い、数千名を傷め続けた人殺し合理化について、反省するどころか、さらに激しい憤りをもって抗議する姿勢を示すことを宣言したものです。

私たちがこのようないい停止を裁判所に申請するなど、正義と眞実に逆行する巻きかえしをかかってきました。

これは、七年半にわたる上村さん達の永遠の永いはかり知れの苦しみをさらに倍加させるために、裁判所に申請するなど、正義と眞実に逆行する巻きかえしをかかってきました。

三池労組は、その日傍聴に参加した人ばかりでなく、福岡週辺に居住する「CO・遺族守る会」会員の人びとや、同裁判を日ごろから熱心に支援いただいている人びとにも強く参加を要望している。

大災害裁判は、提訴後一年、かかる「三池にまなぶ全国集会」に集まつて、三池のCO闘争を主軸に、全国各地で、CO患者たちがばかりでなく、三十八年十一月九日の大災害以降、百名の労働者の生命を奪い、数千名を傷め続けた人殺し合理化について、反省するどころか、さらに激しい憤りをもって抗議する姿勢を示すことを宣言したものです。

三池労組は、その日傍聴に参加した人ばかりでなく、福岡週辺に居住する「CO・遺族守る会」会員の人びとや、同裁判を日ごろから熱心に支援いただいている人びとにも強く参加を要望している。

大災害裁判は、提訴後一年、かかる「三池にまなぶ全国集会」に集まつて、三池のCO闘争を主軸に、全国各地で、CO患者たちがばかりでなく、三十八年十一月九日の大災害以降、百名の労働者の生命を奪い、数千名を傷め続けた人殺し合理化について、反省するどころか、さらに激しい憤りをもって抗議する姿勢を示すことを宣言したものです。

まだ答えるはまだ出でないけれど……

苦境の中でも明るかった三池でした

まだ答えるはまだ